



▲昨年12月に開催した修了式

個人で申し込むのではなく、企業が受講者を推薦し、研修に参加させること。受講者は、半年にわたり講義を受け、受講者同士でディスカッションを重ねながら、学んだことを職場で実践します。これまで117名が受講し、既に管理職として活躍する方もいます。

企業における女性活躍を推進するため、市とせんだい男女共同参画財団が共同で平成27年にスタートさせた「仙台女性リーダー・トレーニング・プログラム」は、今年度も26名の修了者を送り出しました。男女共同参画の先進国ノルウェーの女性役員候補育成プログラムを参考に、財団が開発したこの研修プログラムの大きな特徴は、女性が

女性の活躍を応援

「仙台女性リーダー・トレーニング・プログラム2019」修了式に出席し、受講者にお話を伺いました。



郡市長がさまざまな現場を訪問し市民の皆さまの活動の様子などをお伝えします

「役員の会議で推薦していただき、参加しました。リーダーだからと肩肘を張らず、まず自分が楽しむことが後輩たちのためにも必要だと気がきました」と佐藤優香さん。松紀子さんは「人口構成や働き方など世の中が変わっていく中で、変化を恐れず柔軟に受け止め、前向きにやっていくことが大事だと感じました」と、佐藤朗子さんからは「職場は男性が多く、ここで業種を超えて仲間ができたことは大きい。自分がどう在りたいかを考えるようになり、目指したい姿が見えたのが一番の収穫です」と話していただき、受講を通じて得られた気付きや変化をうれしく感じました。

それぞれのリーダー像

修了式には受講者の所属企業の皆さまもお招きし、グループごとに研修成果が発表されたほか、受講者一人一人が「目指すリーダー像」を宣言。その堂々とした姿に皆さんが大きく成長されたことを実感し、とても感動しました。水出佳奈さんは「子育て中ですが、受講者には管理職と子育てを両立している先輩がたくさんいて、交流の中で学ぶことが多々ありました。さらに自分の中で学びを広げ、会社にアウトプットしていきたい」と、今後の抱負を語ってくださいいます。「部署で初めての女性リーダーとなり、ロールモデルがいな

い中、悩んでいました」と羽柴奈々さん。「受講を通してさまざまなリーダー像があることが分かり、自分らしいリー

仙台女性リーダー・トレーニング・プログラム第5期修了者の皆さん

		
ダイキンHVACソリューション東北(株) 佐藤朗子さん	(株)福田商会・羽柴奈々さん	
		
(株)あいあーるパレスへいあん 松紀子さん	(株)福山コンサルタント東北支社 水出佳奈さん	(株)山一地所 佐藤優香さん

ダーになるためにどうしたら良いか後輩と一緒に考えていけそうです。次世代の女性リーダーを育てる役割も担っていききたい」と話してくださいました。

その人らしい働き方

女性をはじめとする多様な人材が活躍できるダイバーシティの視点は、これからの社会に欠かせないものです。受講者の皆さんには、これからもさまざまな変化や困難が訪れると思います。この研修で得た知識とネットワークを生かして上手に乗り越え、のびのびとご自身の花を咲かせてほしい。そして、ぜひ後輩たちにその背中を見せてください。私も、誰もが自分らしい働き方ができる仙台を目指し、これからも力を尽くします！